

栃木県地域医療再生計画(平成24年度国補正予算)

安全で質の高い医療が効率的に受けられる体制の整備充実を図り、すべての県民が健康でいきいきと、安心して快適に生活できる社会の実現

医師等確保対策の推進



医学生の県内定着等を図るため、インセンティブ確保のための修学資金の貸与など、環境の整備

在宅医療の推進



在宅療養を安心して継続するため、在宅療養者が急変時にも、適切な場所で適切な療養を受けられる体制の充実

災害時の医療提供体制の整備



東日本大震災規模の地震が発生した場合等でも、医療機関が継続して医療機能を提供出来る体制を整備

主な取組

医師等確保対策事業

- ・獨協医科大学に栃木県地域枠を設定し、修学資金を貸与
- ・産科医修学資金の貸与
- ・産科医キャリアプラン支援事業の実施
- ・看護師等確保対策事業の実施

など

在宅医療推進事業

- ・退院(転院)を調整するシステム構築
- ・在宅医療と介護の連携を推進する情報共有に関する調査研究
- ・入退院共通連携シートの作成
- ・在宅医療を受ける患者家族等に対する研修会
- ・訪問看護ステーションの管理者向け研修会
- ・訪問看護ステーション設備整備事業、薬局無菌製剤設備整備事業、在宅療養支援診療所設備整備支援事業等の実施

など

災害時の医療提供体制確保事業

- ・新小山市民病院の移転新築への助成
- ・広域搬送拠点臨時医療施設(SCU)の整備及び実働訓練、研修実施
- ・災害拠点病院等が行う自家発電装置等の施設・設備整備に対する助成
- ・二次救急医療機関等が行う耐震診断、耐震改修に対する助成
- ・病院群輪番制病院が行うヘリポート整備に対する助成

など

【策定の基本コンセプト】

これまでの地域医療再生計画の進捗状況等及び地域の実情を踏まえ、計画策定時以降に生じた状況の変化に対応する。

背景

医師・看護師不足

高齢化の進行と
高まる在宅医療の重要性

地震等の大規模災害への備え